

キャラクター名
角内 綾兎(ツノウチ アト)

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ ハヌマーン		ワークス	ヴィジランテA	カヴァー	ストリートキッズ
	オプション		年齢	17	性別	女
覚醒	探求	衝動	加虐	初期侵食率	29	%
出自	天涯孤独	経験	永劫の別れ	邂逅	相棒	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	35
肉体	4	1	0	2		7	行動値	6
感覚	1		0			1	(非装備時)	3
精神	1		0			1	戦闘移動	8
社会	2		0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	18		射撃			RC			交渉	1	
回避			知覚			意志	1	2	調達	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:裏社会	1	2
運転:			芸術:			知識:			情報:ヒーロー	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:ヴィラン	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
(-99)	白兵	12r+18	2	19		
(100-159)	白兵	12r+18	2	23		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
アームドスカーフ		2		3	効果変更素手攻撃力+4
↑ラギッド		-1			装甲値-1、〈意思〉達成値+1

所持品	
アームドスカーフ	
↑ソウルアイテム	
↑思い出の一品	
コネ:情報屋	
↑ストーン	

合計装甲: 1 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
伝承者〈白兵〉	P	N		
アルミラージ(GR)	P 連帯感	N 憤懣		
角内 陸兎(PU)	P 遺志	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8 残り財産P: 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
蹂躞する蹄	3	2	セット	至近	自身	自動	-	
効果: ラウンド間次に行う白兵攻撃力+[LV*3]、〈一角鬼〉効果中・移動後のみ有効								
一角鬼	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 素手変更								
ハンティングスタイル	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 戦闘移動、エンゲージ無視、[LV]回/シーン								
コンセ:ハヌマーン	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-[LV](下限7)								
風鳴りの爪	3	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: ダメージロール[LV]個まで振り直し								
リフレ:ハヌマーン	3	2	リアク	至近	自身	-	-	
効果: C値-[LV](下限7)								
切り払い	★	1	リアク	至近	自身	自動	-	
効果: 〈白兵〉でドッジ								
軽功	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 足場に関係なく走り抜けられる								
七色の声	★	1	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 声を別人のものにする								
超人的代謝	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 怪我の治りやアルコールや毒物の分解速度が早い								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

ヒーローを見定め、時には手を下す、ヴィジランテとアンチヒーローの間の少女。
現状の情勢により孤児となったのだらうとは思っているが、別にその生まれや育ちに不満を抱いたことはない。

下水道で身を寄せ合った義兄弟の一人である角内陸兎はヒーローだった。その職業も、その存在も。ヒーローの溢れる社会にて平凡だった彼は、それでもサイドキックとして大手のヒーローチームにて日々活動していた。彼の支援もあり、兄弟は全員下水道での暮らしからポロアパートで暮らせるようになり、兄弟もまた、どぶさらいをやめて新聞配達や靴磨きをしながら情報売るなどして生活するようになった。兄は忙しくともたまに帰ってきては、今の雇い主は孤児である自分を受け入れてくれた善い人である、同僚とも上手くやっていてどんな任務をした、いつかは独立して同じようにサイドキックを雇う、など夢を語った。しかし彼は約5年前に起きたレネゲイド災害にて、同僚達と共に救助活動のために出動し、一般市民を庇って死んだ。彼らによる懸命な救助活動が報われることはなく、寧ろその災害の被害が彼らの判断ミスによる軽率な行動により大きくなったという汚名を雇い主であったヒーローに背負わされたのだった。

そんなことは有り得ない、と社会に訴えかけたが、孤児の声は誰に届くこともなく、それどころか彼らの家は奪われ、かの雇い主は未だにヒーローとしての地位にいられている。過去に一度、それに異議を唱えるべく事務所へ家族で乗り込んだ。しかしそこで得たのは、そいつがヒーローとはかけ離れた人格の持ち主であるということだけだった。確かに彼には後ろ暗い噂があった。しかしそれが大げらにならないのは、強力な後ろ盾の存在が大きな理由だったのだ。兄弟は口止めのために皆、命を落とす。命から逃げるのが出来た者も、途中で息絶えた。幸うじて人気のない路地まで逃げられたのは彼女だけだった。

元の住処に戻る力すら残っておらず、見知らぬ暗い路地裏で果てる命を助けたのは、義兄弟の一人であり義兄の奇妙な隣人であるアルミラージだった。彼は協力型のRBであるため自分自身で動くことせず、ポロ布として路地裏で息を潜めて生きていたのだと言う。彼の力を借りることで一命を取り留め、そして新たな相棒と共にヒーローを裁く存在として影の世界に生きていくことを決めた。